



あさきた

あさひが丘 ふれあいいきいきサロン 祝 400回



400回目を迎えた『あさひが丘地区社会福祉協議会ふれあいいきいきサロン』は毎月第2、3、4木曜日9時から、JA広島市あさひが丘支店コープビル1階で開催されています。自宅に閉じこもり気味な方との交流を目的に少人数でスタートし、その後、地域の方の作品展示の場にもなって、今では約60人が参加されています。今回の展示では、端午の節句にちなんだ作品がずらりと並びました。

また、会場の入口前には“マルシェ”(市場)のように並ぶ二重焼、魚、惣菜、花を扱うお店も出ており、これもサロンに参加する楽しみの一つになっています。

サロンのお手伝いをされている『ボランティアグループきのこ』代表の木下さんに話を伺うと、「“楽しくなければボランティアじゃない”がモットーなので、楽しくお手伝いさせてもらってありがとうございますという気持ちでお手伝いしています。」とおっしゃっていました。グループの立ち上げから26年とどのことと、長く続ける秘訣を伺うと、「無理なことは勇気を持って断ること。そうでなければ中途半端になって、お願いする人に失礼だから。」と教えていただきました。

次は500回を目標に出発したサロンは、たくさんのボランティアの方の真心とともに、これからも“天空の街・あさひが丘”を盛り上げます。



目次～主な内容～

- | | |
|--|-------------------------------|
| □ あさひが丘ふれあいいきいきサロン・祝・400回 …… P1 | □ 平成31年度事業計画・平成30年度決算報告 …… P4 |
| □ 総合事業・住民主体型生活支援訪問サービス …… P2 | □ ボランティアセンター通信 …… P5 |
| □ サロン紹介(海戸ふれあい健康増進サークル「ふれあいサロン「オアシス」」) …… P3 | □ お知らせ 他 …… P6 |

この広報紙は、多山報恩会様からの助成金や赤い羽根共同募金の配分金を一部充当して発行しています。

住民主体型 生活支援訪問 サービスを ご存知ですか

3年目を
迎えました

「住民主体型生活支援訪問サービス」は、「介護予防・日常生活支援総合事業」で実施する訪問型サービスの1つで、地域包括支援センターのケアマネジメントを受けた要支援者等に対して、地域団体などのボランティアが日常の家事等の手助けといった簡易な生活支援を行い、地域との関わりの中で、自立した生活を送ることを支援するサービスです。

広島市ではこのサービスを実施する団体に、運営費などの費用の一部を補助しています。

詳しくは、安佐北区社会福祉協議会(月～金8:30～17:15) TEL 082-814-0811
生活支援コーディネーター 丸谷まで お気軽にお問い合わせください。

実施団体(平成30年10月から)

「森城ハウス・トライ」 ある日の活動

① ボランティア
コーディネーターが
相談・依頼を受付



② 相談者宅を訪問し
作業内容の確認・日程調整



③ ボランティア(支援者)の調整



⑤ 作業終了確認・
料金徴収



④ 支援実施



平成30年10月から、新たなボランティアグループを立ち上げ、住民主体型生活支援訪問サービスを始めた『森城ハウス・トライ』(以下「トライ」)の皆さんは、地域交流拠点の『森城ハウス』内に事務所を置き、森城団地町内会を範囲として活動されています(7月1日から飯室小学校区域へ範囲拡大)。取材当日は、トライの男性4名が庭木の伐採などの作業をされました。同団地にお住いの佐々木さんに依頼された理由をお聞きすると、「ご近所さんから、丁寧に作業をしてもらえると聞いて初めてお願いしました。」と話してくださいました。トライ代表の石山さんは、「高齢者の方はチラシだけでは不安で、利用者の口コミを聞いた人からの依頼が多く入ってきます。」と言われます。

作業が進み、覆い茂っていた庭木の間から庭石が見えると、「うわー嬉しい。朝、窓を開けて庭石を見たかったの!」と思わず依頼者の佐々木さんも声が弾みます。依頼者のために、一生懸命作業をされるトライの皆さんの姿は本当に素敵でした。これからも無事故で活動が続けていただきたいと思います。

安佐北区の 住民主体型生活支援訪問サービス 実施団体

森城ハウス・トライ

TEL 835-3404

毎週月・火・金・土・日 10:00～12:00

活動範囲 飯室小学校区域(小河内を除く)

可部南地区社会福祉協議会

ボランティアバンクひまわり可部南

TEL・FAX 812-2940

毎週月・水・金 9:30～11:30

活動範囲 可部南小学校区域

協同労働 タンポポのわたげ

TEL 080-8231-0355

FAX 847-2015

毎週月～金 10:00～15:00

活動範囲 安佐北区域(要相談)

可部地区社会福祉協議会 りんりん可部

TEL 847-5509 FAX 815-0756

毎週火・木 10:00～12:00 13:00～15:00

活動範囲 可部小学校区域

亀山地区社会福祉協議会

ボランティア部

TEL 815-4178 毎週火・木 9:30～12:00

活動範囲 亀山小学校区域

サロンの紹介

三田地区

海戸ふれあい健康増進サークル

『海戸ふれあい健康増進サークル』は、毎週月曜日14時から海戸集会所でいきいき百歳体操を、最終週の月曜日には体操に併せてサロンを開催されています。伺った日には、次のサロンで行うペットボトルボウリングの予行練習も行われ、「水が多すぎて倒れんよ〜!」「今のはルール違反にしよう!」と、皆さんで楽しみながら検討されていました。昨年の豪雨災害で被害の大きかった三田地区ですが、代表の谷崎さんは、「橋が壊れて、今でも遠回りをしなければ来れない方もいます。それでもたくさんの方が元気に参加してくれていますし、参加者が増えてきて会場が狭くなっているんですよ。」と話してくださいました。一日も早く橋が修復されることを願うとともに、これからも地域内に“笑顔の橋”が架かり続けることを願っています。



深川地区

ふれあいサロン「オアシス」

『ふれあいサロン「オアシス」』は毎月第4土曜日10時から、みんなで歌うことを中心にしたサロンを開催されています。昨年の豪雨災害までは高陽公民館で開催されていましたが、現在は深川にある「プラザHot One」で開催されています。代表の原田さんは、「事情を考慮して低料金で貸していただき、開催案内も掲示してもらっていて、お店の協力があります。」「口コミで広域からの参加者も増えているんですよ。」と話してくださいました。

伺った日には、80名の参加者で会場が埋め尽くされるほどで、歌詞集は100名分が用意されていました。ギターとピアノの伴奏にあわせて、参加者の大合唱が会場内に響き渡ります。1時間半があつという間で、終了後には余韻を楽しむように、併設のカフェでランチ(二次会)をされる方も。名前の通り、心と心をつなぐ「オアシス」がここにありました。

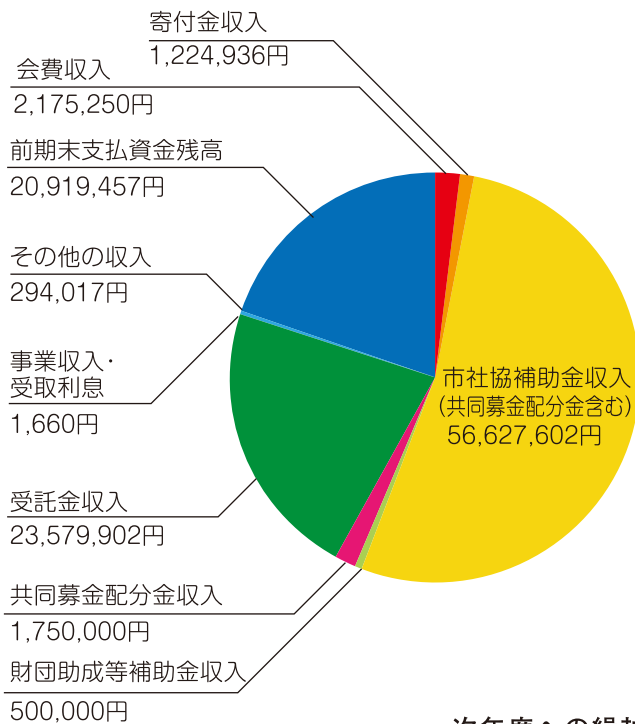


平成31年度 主要事業実施計画

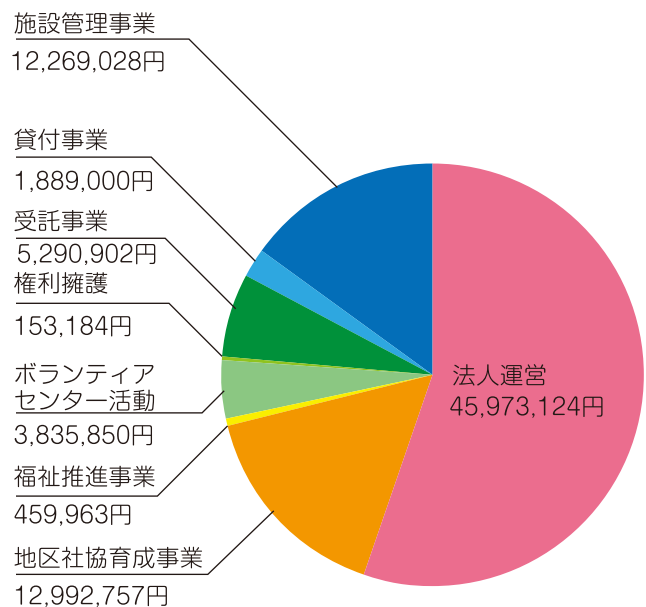
- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 法人運営事業 | 9 高齢者福祉事業 |
| 2 企画・広報事業 | 10 障害児者福祉事業 |
| 3 大会事業 | 11 ボランティアセンター事業 |
| 4 部会・委員会事業 | 12 相談援助事業 |
| 5 地域福祉センター指定管理事業 | 13 受託事業 |
| 6 地域福祉活動推進事業 | 14 貸付事務事業 |
| 7 役職員研修事業 | 15 可部福祉センター指定管理事業 |
| 8 児童福祉事業 | 16 その他の事業 |

平成30年度 決算

収入：107,072,824円



支出：82,863,808円



次年度への繰越 ▶ 24,209,016円(事業間の繰入金・繰出金を除く)

正副会長のご紹介

令和元年6月21日に開催の理事会において、次の5名が本会の正副会長に選任されましたので、ご紹介いたします。

会長 大畠 正彦
(亀山地区社会福祉協議会会長)

副会長 川村 一夫
(久地南地区社会福祉協議会会長)

副会長 向井 文武
(深川地区社会福祉協議会会長)

副会長 武田 恒一
(三田地区社会福祉協議会会長)

副会長 河野 雅江
(安佐北区民生委員児童委員協議会会長)

任期 令和元年6月21日から2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会終結の時まで

Volusta2019の 参加者を募集しています!

可部周辺で行われている地域のボランティア活動に参加します!

- 対象** 中学生から大学生相当の年齢の方
- 集合場所** 安佐北区総合福祉センター
- 定員** 10名程度
- 参加費** 350円(ボランティア活動保険料)

申込締切 8月2日(金)

申込方法

登録フォーム、Eメール、電話、FAXで、氏名、住所、電話番号、学校名・学年を添えてお申込みください。

申込・問合せ先

社会福祉法人 広島市安佐北区社会福祉協議会
〒731-0221 広島市安佐北区可部三丁目19番22号 安佐北区総合福祉センター4階
TEL(082)814-0811 FAX(082)814-1895

● Eメール

kita@shakyo
hiroshima-city.or.jp



● 登録フォーム

<https://forms.gle/o5bY52EMqQpcDyBp6>



1回目 8月9日(金)10:00~11:30
・オリエンテーション他

2回目 8月16日(金)8:30~12:30
or 8月20日(火)8:30~12:30
・小学生の学習の場
「よつば教室」活動に参加しよう!
2回目はどちらか1日をお選びいただきます。

3回目 8月23日(金)9:30~13:30

- ・食品ロスやフードバンク・フードドライブの活動について学ぼう!
- ・フードバンクの活動に参加しよう!
- ・ランチ交流会~ふりかえり~

『すずらんの会』が 高齢者施設に ひざ掛けを プレゼントしました



「すずらんの会」のみなさんと「ふかわ・くにくさ」の職員さん



会話を楽しんでいても、手は止まりません♪

ボランティアグループ『すずらんの会』は、太さの違う毛糸や使わなくなったセンターの糸でひざ掛けを編み、高齢者施設などにお贈りする活動をしています。

普段、家事の合間に少しずつひざ掛けのモチーフを編み、安佐北区総合福祉センターで行う定例会では会員同士が会話を楽しみながら、各自が持ち寄ったモチーフを組み合わせてひざ掛けを作っています。

代表の武内さんは、「この活動は平成4年から始まり、会員数が多い時には年間100枚以上のひざ掛けを施設や作業所などにお贈りしてきました。」と話してくださいました。

この度、完成した10枚のひざ掛けを「介護老人保健施設ふかわ・くにくさ」にお贈りされました。

このひざ掛けは、施設を利用される皆さんに使っていただきます。また、施設の職員にお話を伺ったところ、利用者の皆さんは以前に『すずらんの会』が贈ったひざ掛けを今でも大切に使っているそうです。

会員の皆さんは、「喜んでもらえて嬉しい」と笑顔で話されていました。

お願い

『すずらんの会』では、ひざ掛け作成に使用しない毛糸を活用して、帽子や座布団などを作り、安佐北区ボランティアフェスタのバザーに出品し、毛糸の購入費に充てていますが、それでも十分ではありません。ぜひご家庭で眠っている毛糸がありましたら、安佐北区ボランティアセンター(安佐北区社会福祉協議会)までご連絡ください。

安佐北区ボランティアグループ連絡会主催

予告

『第17回 安佐北ボランティアフェスタ』を開催します。

平成30年7月豪雨災害により災害ボランティア活動を優先することから、やむを得ず中止となりました『第17回 安佐北ボランティアフェスタ』を令和元年10月19日(土)に開催します。

これから、安佐北ボランティアフェスタ実行委員会を中心に、安佐北区ボランティアグループ連絡会で準備していきますので、どうぞ楽しみにお待ちください。

募集

安佐北区ボランティアグループ連絡会では遊休品を募集しています。遊休品バザーの収益は、ボランティアフェスタの開催資金やボランティアグループ連絡会の活動資金となりますので、未使用・未開封の品物がございましたら、ご寄付をお願いします。

日 時

令和元年8月21日(水)
13:00~16:00

場 所

安佐北区総合福祉センター

内 容

多重債務、破産、離婚、相続などについて弁護士が無料で相談を受けます。ひとり30分(定員6名)

弁 護 士 無 料 法律相談会 を開催します



申込方法

電話またはFAXにて受付けます。
なお、定員になり次第締め切りとさせていただきます。
(原則、安佐北区内に居住する方を優先)

申 込 先

社会福祉法人
広島市安佐北区社会福祉協議会
電話 8 1 4 - 0 8 1 1
FAX 8 1 4 - 1 8 9 5

お礼と ご報告

平成30年度
広島市安佐北区共同募金委員会 募金実績額
(平成31年3月31日現在)

赤い羽根共同募金へのご協力 ありがとうございました。

11,790,742円

(内訳) 戸別募金: 9,608,865円
街頭募金: 183,494円
法人募金: 1,363,200円
職域募金: 536,933円
その他: 98,250円

広島市安佐北区共同募金委員会では、「自分の町を良くするしくみ」をスローガンに募金活動を実施し、総額11,790,742円の募金をいただきました。皆さまのあたたかいご理解とご協力に感謝申し上げます。

赤い羽根共同募金



毎年10月1日から12月31日にかけて、共同募金運動を実施しています。
赤い羽根共同募金は、地域の福祉活動の他に、災害時の被災者支援活動にも活用されています。皆さまのご理解と一層のご協力をお願いいたします。



SNS(Facebook、 Twitter)を活用します

安佐北区社会福祉協議会では、昨年の豪雨災害発生後から、主に安佐北区内の災害ボランティア活動について、FacebookやTwitterで情報発信を行ってきました。今年度は、本会が行う活動の他に、安佐北区内で行われている地域福祉活動やボランティア活動の情報などを少しずつ発信していきたいと思っておりますので、ぜひご覧ください♪



Facebook



<https://www.facebook.com/asakitaVC/>

Twitter

<https://twitter.com/asakitavc>

社協職員が全力でおすすめる本

シャボン (社本)

森は海の恋人

畠山 重篤(著)文春文庫

気仙沼で牡蠣養殖業を営んでいた畠山重篤氏が、森が作る栄養分が川を通じて海へ流れ込み牡蠣の栄養分となることに着目し、30年前から気仙沼の漁師と広葉樹の植林活動を始めたというものです。牡蠣の生産量日本一を誇る広島県でも、この活動を見本として1995年から「漁民の森づくり活動」という植林活動が行われております。なぜ漁民が植林活動を行うのか、またその活動にかけてきた漁民たちの思いが記された一冊となっております。

【社協で貸出しています】☆関連する本「システムとしての森-川-海」貸出可



愛の灯



安佐北区社協に、みなさまより多額のご寄付をいただきました。

みなさまのご厚意に感謝申し上げます。
し上げへご報告いたします。

(平成31年3月12日)

令和元年7月1日

へ一般寄付

高陽町心身障害児者
父母の会 様

広島出身Jリーグ
平成30年7月豪雨
復興支援
ミンナノチカラ
石田 幸子 様

匿名 様

指定寄付

障害児者福祉事業
広島市安佐北区
安佐町心身障害児者
父母の会 様

広島市安佐北区
心身障害児者
父母の会 様

匿名 様

匿名 様

匿名 様

匿名 様

匿名 様

匿名 様

匿名 様

匿名 様

匿名 様

匿名 様

匿名 様

匿名 様

匿名 様

匿名 様

匿名 様

匿名 様

匿名 様

匿名 様

匿名 様

匿名 様

匿名 様